

鹿背山の里地里山を守り育てる活動

NPO 法人 鹿背山倶楽部

代表 長尾 輝治

京都府

はじめに

京阪奈丘陵に位置する木津川市の鹿背山地区は自然環境や歴史文化資源に恵まれ、周辺には学研都市構想に基づき、新しい街づくりが進んでいます。国民の自然志向意識が高まるなかで、日本の大切な農文化を構築する里山の再生活動が住民主体のボランティア組織で行われています。鹿背山においても 2005 年から「鹿背山倶楽部」を立ち上げ、都市再生機構の関西学研事業本部の支援のもとに地元住民と新しい街に移り住んだ人達と連携して、里山大好き人間が集まり、里山管理活動を楽しんでいます。良好な自然環境の創出は地球環境問題への取り組みにもなります。

活動目的の一つは里山林の修復、再生です。京都議定書の発効に伴い、良好な森林の再生が大きな課題です。水田や畑労働の放棄に伴う竹の異常繁殖は里山域まで進入し、森林の生態系や景観を破壊しています。竹藪化した竹を伐採して、良好な雑木林や竹林を再生し、多様な生物が棲息できる里山環境の場づくりを目指しています。これまでの活動でタガメやコオイムシ、マツモムシなどの小動物、ノダケやツリガネニンジン、ミズオオバコなどの野草を確認できています。これからもオオタカの生育環境の修復に寄与し、カスミサンショウウオのミティゲーションの場としての活動をしていきます。

農活動としては 3 種の古代米とヒノヒカリ米の米づくりをしています。苗床づくり、播種、代かきと田植え、夏場の除草、稲架づくりと稲刈り、脱穀と粳すり、収穫したもち米での餅つきなど、地元の人たちに協力を得ながら、コミュニケーション図り、新旧住民が協働して楽しんでいます。畑地では季節の野菜類を栽培して、子供達には芋ほりや小麦の収穫体験を楽しんでもらい、季節ごとに収穫出来たものを食材として料理することなどで、1 年を通じて自然の歩みにあわせた、一昔前の農生活スタイルを満喫しています。

里山活動は社会問題化している環境教育や情緒教育の場として、大きな役割を果たすことが出来ます。子供たちにはビオトープ池で里山の生物が観察できるようにしています。また、この地域は豊かな自然が残っており、新しく移り住んだ人たちには身近なところで自然と触れ合うことが出来る居住環境にあります。新しいライフスタイルを実践、提言できるなど、社会的にも大切な役割を担う活動です。また、高齢化社会への対応は大きな課題となっています。私達の活動は多くのリタイアした人達に「里山活動の場」を通じて、精神的にも身体的にも健康な潤いのある時間と居場所を提供することが出来ます。多くの人たちが参加出来るように頑張っていきたいと思えます。

謝辞

この度は私たちの活動にご理解いただき、T a K a R a ハーモニストファンドの関係者皆様に心からお礼申し上げます。助成金を受けて、2 年間の活動を続けてきました。この間、施設の整備や活動機器の充実、運営資金の増額で活動内容が多様化しました。会員も様々なことに、挑戦して、喜びを共有することが出来ました。これからも、自然環境の保全、再生を通じて、地球環境問題や生物多様化に少しでも寄与できるように活動を続けていきたいと思えます。ありがとうございました。

2013 年 6 月

鹿背山倶楽部会長 長尾輝治

平成24年4月の活動

アズの花が咲く中で第85回「鹿背山倶楽部活動」を4月14日（土）に16名の参加で行いました。稲苗の苗床づくりと水路の整備、畑での春植え野菜の播種の準備と除草、タケノコ掘りほかを行いました。

稲苗づくりに向けての苗床づくりをしました。昨年、苗床として使用した場所の残っていた竹材や雑草等を取り除き、周辺を高くして、水を導入しました。その後に鍬やレーキで土を柔らかくして、水平になるように均しました。今年は畝立てを低くして、播種後の養生管理や稲苗の採取が容易になるようにします。小川からの導水の取り口や水路ルート of 整備も行いました。1週間後の4月22日（日）に特別活動として、午前中は保管していた古代米3種（黒米、赤米、緑米）とヒノヒカリ米の種籾を苗床に播種して、保温のためのシートを被せて、育成管理をします。



・苗床の導水後の均し作業

・春蒔き野菜地の耕運機による耕耘

畑ではソラ豆とエンドウ豆畝の手作業による除草を行いました。ソラ豆は背丈が小さいながらも、花が咲き始めました。ジャガイモは地上に芽を出してきました。ダイコンとカブらは順調に本葉を出して生育しています。また、会員が数日前に播種したコマツナは双葉を出し、キクナやインゲン豆も幼芽を出してくるでしょう。これから、種蒔きをする畝の整備をしました。ネギを収穫して、除草を行い、苦土石灰と牛フン堆肥を施して耕運機で耕耘しました。チンゲンサイやエダマメ、オクラ、トマト、キュウリなどの種蒔きを行います。鳥の食害や害虫防除、灌水をこまめに行い栽培養生して、収穫を楽しみたいと思います。

タケノコ掘りも行いましたが、寒さの影響で育ちが遅れているようで、収穫は少しかったです。参加者にはくじ引きで手土産としましたが、1人あたり1～2本でした。今のところ、タケノコ泥棒の被害には会っていません。ハチクやマダケのタケノコ掘りはこれからです。期待しましょう。

会員から提供していただいた、ヒマラヤサクラの苗木5本を植栽しました。

昼食は事前に用意した、かやくご飯に讃岐うどんでした。かやくご飯は会員の奥様が朝から仕込みを行い、炊いていただいたものでした。懐かしい田舎味で美味しく、添えてあった酢漬け薄紅ショウガも好評でした。感謝です。また、うどんは冷凍讃岐うどんを女性会員が大きな鍋で茹でて、蒲鉾や収穫したシイタケ、ネギをふんだんに入れた素うどん風でしたが、春の陽ざしを十分に受けての里山での食事は贅沢の極めでした。

平成24年5月の活動

白いウノハナの花が咲き誇る中で第86回「鹿背山倶楽部活動」(その2)を5月26日(土)に13名の参加で行いました。晴天に恵まれ、田植えのための整備と夏野菜の植え付けと収穫、竹の伐採と苗木の植栽、機械雑草刈りほかをしました。初夏の暑さの中で、気持ちよい一汗をかけた活動の1日でした。

新しく使用する水田のトラクターによる耕耘を行いました。1月ほど前に耕運機や人力で耕耘を行いましたが雑草が茂っていたことや、導水前の耕耘作業として行いました。また、水田に水を入れるために水路の流れを変えるせき止めを行いました。晴天が続いているために、水の量は少ないようですが、田植えまでには水は確保出来るでしょう。

集会所周辺と水田周りの畦部の機械草刈りを行いました。雑草が繁茂していますが、人手不足から2台での作業となりました。次回には5台全てを使用していきたいと思えます。

畑では夏野菜の植え付けと収穫を行いました。

会員が種子から育てていたキュウリ、トムロコシ、モロヘイヤ、トマト、ゴウヤなどの苗を植え付けました。前回カボチャ苗を植え付けましたが、甲虫類の食害を受けたために、平日にビニールシートをトンネル状に被せたことで順調に生育しています。



・トラクターによる水田の耕耘

5月22日は国際生物多様性の日です。今回は木津川市制5周年と都市再生機構の木津中央城山台街開きを記念し、緑の教育と普及啓発の植樹を呼びかける「グリーンウェイブ(緑の波)」の活動の一環として、苗木(エドヒガンサクラ5本とビワ3本)の寄贈を受け、植樹をしました。エドヒガンサクラ5本は里山林の再生を目指している斜面地の竹の伐採跡地に植樹しました。竹の根が残っており、植え穴の掘削と植樹後の灌水の水を運び上げることが一苦勞でした。ビワ3本は果樹園地の一部に植樹しました。大きく育つことを願い、これからも地球環境問題や生物多様性に貢献できる活動を続けたいと思えます。



・竹伐採跡地にエドヒガンサクラを植樹



・大きく育てよ！エドヒガンサクラ

【観察した生物】 シュレーゲルアオガエル、ハグロトンボ、アザミ、ウノハナ

平成24年6月の活動

ツバメが飛び交う中で第87回「鹿背山倶楽部活動」(その2)を6月23日(土)に21名の参加で行いました。台風や熱帯低気圧の影響での激しい降雨もあがり、曇り空の下での古代米ほかの田植え、ジャガイモの収穫と畑の手入れを行いました。梅雨の晴れ間の蒸し暑い活動の1日でした。

楽しみにしていた田植えがやっと出来ました。6月前半の小雨や水田の水漏れによる水不足で延び延びとなっていました。まず、水田内の除草と代かきを行いました。前週に漏水止め作業と畦の嵩上げをしていたことから、水量は十分な量でした。除草をして、代かきと均し作業を行いました。トンボやレーキ、鍬を使い、生ぬるい水の間を楽しまながらも、足元は泥まみれになっての作業でした。苗床から稲苗の採取を行いました。黒米の苗床は稗苗が多く混じり生えていたことで、経験者から見分け方を教わり、1芽ごとの採取となったことで時間がかかりました。赤米と緑米苗床は稗苗が少なく、稗苗を抜き取ってから稲苗の採取を行いました。昼食後早々に上の水田から、黒米の植え付けを行いました。稲苗が意外と少なく、残りの部分には地元の方から譲り受けたヒノホカリ米苗の田植えを行いました。中の水田には赤米の植え付けを行いました。昨年に採取した種籾が少なく、4～5年前の種籾を苗床に播種していましたが、殆んど発芽はしていませんでした。したがって、今年の赤米の収穫籾は来年への種籾にしたいと思います。残りの部分には緑米の植え付けを行いました。緑米の稲苗は多く採取できたことで、秋の黒紫色の穂の実りの里山景観が楽しみです。下の水田には緑米の残りの植え付けを行い、残りの部分にはヒノホカリ米苗の植え付けを行いました。予定していた水田への田植えを終えることが出来ましたが、夏場の水草の繁殖や水不足に注意して、養生管理していきたいと思います。秋の収穫を楽しみにしましょう。



・トンボやレーキを使つての代かき

・一列に並んで目印のところに手植え

ジャガイモの収穫をしました。前回の活動日にも収穫をしました。今回の方が大きいイモの収穫が出来ました。昼食時に蒸かしてイモで食しましたが、美味しくいただくことが出来ました。また、インゲン豆の収穫も行いました。キュウリとゴーヤの誘引ネット張りを行い、誘引作業を行いました。サツマイモは安納品種の活着が悪く、数芽が枯れました。品種が合わなかったのかも知れません。

平成24年7月の活動

橙色のヤブカンゾウが咲く中で第88回「鹿背山倶楽部活動」を7月14日（土）に17名の参加で行いました。繁茂した雑草の機械草刈りと畑での除草と手入れ、里山林の竹の伐採、水路の整備ほかを行ないました。梅雨明け宣言前の夏本番の暑さの中での活動の1日でした。

この時期の主な活動の一つとしての繁茂した雑草の草刈りを行いました。刈り払い機5台を全て使用して行いました。事前に会員が点火プラグやエレメントの清掃、グリスの注入、スロットルレバーの遊び他の点検や刈り刃の研磨を行いました。特に休憩所周辺や畦路、水田の周り、畑や果樹地の周りを行いました。前回の活動から3週間過ぎていたことで、草丈も長く、密に繁茂していました。9月頃までは活動日ごとの主な作業になります。有害動物との棲み分けにも必要な活動です。頑張りましょう。



・果樹園地の機械草刈り



・ゴーヤとサツマイモ畝周りの除草

畑でも雑草が元気に育っていました。サツマイモやカボチャ、エダマメ畝の周りを手作業で除草を行いました。雨後で土は水分を含み柔らかくなっていましたが、根が良く張っていたことで、抜き取るのは一苦勞でした。キュウリとトマト、ゴーヤの誘引を行いました。次回の活動日には収穫が出来るでしょう。トウモロコシも実り始めましたので、鳥害防止のネット張りを行いました。カボチャは10個ほどの実りが確認できましたので、刈り取った雑草を厚めに下に敷きました。鑑賞用のカボチャは雑草のために生長が遅れているようですが、会員が平日に手入れをしました。実りの鑑賞を楽しみにしましょう。残っていたジャガイモの収穫を行いました。葉が枯れ、雑草に埋もれていたので、植え付け場所の確認に手間取りましたが、収穫をしました。大きめのいいジャガイモでした。

里山林の竹の伐採を行いました。急斜面で雑草や笹が生い茂る中で、足元に注意しながらの作業となりました。水田周りの防護用の支柱材や畑での野菜の添え竹材として使用します。



・急斜面での竹の伐採

平成24年8月の活動

オニヤンマが飛ぶ中で第89回「鹿背山倶楽部活動」が8月11日（土）に19名の参加で行いました。繁茂した雑草の機械草刈りと畑での除草と手入れ、水田の除草、水路の整備ほかを行ないました。

繁茂した休憩所周辺や畦路沿いの雑草の機械草刈りを行いました。刈り払い機の刃を新しい刈刃に取り替えて行いました。この時期、雑草の生育は旺盛です。有害動物との棲み分けにも欠かすことの出来ない作業です。危惧していたことですが、水田横の畦路沿いの斜面でスズメバチの巣があり、2日前に会員が自主的に作業をしていて、雑草に覆われていた土中の巣に触れたことで、襲われて手を刺されました。幸い、手の甲が腫れましたが大事にいたらずにすみません。里山での全ての活動は有害動物との接触もあることを前提として、気をつけて、作業をしたいと思います。



・畦路沿いの斜面に作られたモンズズメバチの巣 ・水田周りの防護柵設置の杭打ち（ひと休み中）

畑では手作業による除草と収穫が済んだ野菜の撤去を行いました。カボチャは10個余りが収穫できました。

水田の稲は順調に生育しています。今年は普通の生育状況で分結も進み、雑草も少ないようですが除草を行いました。湿度が高く、蒸し返しも厳しい中での作業となりました。ご苦労さまでした。今年から新しく使用することにした水田の周りの防護柵設置の準備として、ストックしてあった竹材を使って、杭の打ち込みを行いました。9月後半までに防護網の取り付けを行う予定です。

ビオトープ池への水路の堰の整備を行いました。7月の激しい雨で水漏れヶ所があり、池への流入が出来ていない状態でした。土嚢を積みなおし、止水作業をしました。これからの濁水に対応できます。

養蜂の箱を6月に休憩所近くのアラカシの木の下に設置して、ミツバチが好むランの鉢を置いておきましたが、先日、蜂の群れが箱に入るのを確認でき、今日も出入りが確認できました。時期を見て、箱の中の巣の状況を確認したいと思います。楽しみです。



・ビオトープ池への水路の堰の手直し

平成24年9月の活動

紅のマンジュシャゲが咲く中で第90回「鹿背山倶楽部活動」(その2)を9月22日(土)に16名の参加で行ないました。水田と畑の周りの防護柵の設置と秋野菜の手入れ、竹の切り出しほかを行ないました。残暑が少し残る中での里山での活動の1日でした。

稲の穂が実り、緑米の黒紫色の穂が秋の里山の彩りを醸し出しています。黒米とヒノヒカリ米の穂は頭が下垂して、実りが実感できます。赤米と緑米は少し遅れているようで、まだ穂は下垂していませんが分結数も多く、収穫が楽しみです。獣害対策として、水田周りの防護柵の設置を行いました。まず杭周りの雑草を刈り払い機で除草し、これまでの活動で、約1.5m間隔で打ち込んだ竹杭に防護網を取り付ける作業を行いました。保管してあった防護網を水田横に運び、出入り口を2ヶ所設け、竹杭に天場と裾の部分をつで結びました。昨年は防護が甘く、イノシシに網の下から潜り入られて、被害を受けたので、今年は再度見直して、厳重に対策を取りたいと思います。



・防護網設置前に雑草の刈り取り



・防護網の取り付け

畑では秋野菜の手入れと防護柵の取替えを行いました。播種したダイコンが幼芽を出してきましたが、一部食害を受けていることから、薄めの農薬散布を行いました。ニンジンとタマネギはこれからのようです。タマネギの植え付けの準備として、畝に苦土石灰を施して耕耘しました。サツマイモはよく茂り、畝をはみ出して順調に生長しています。ナスビとゴーヤ、オクラは最後の収穫をしました。モロヘイアも収穫をして、参加者の手土産としました。防護柵の取替えを行いました。網が雑草を刈り取る時に刈り払い機に巻き込まれて、多くのところで切られていました。新しく網を購入しました。竹杭は切り出した竹を約1.4cmで切り、天場を節切りし、反対側を斜め切りとし、穴あけ機で深さ約30cm掘り下げ、杭を立て、木槌で打ち込みました。網の設置は入口部から、一周して、天場と裾部をつで結び固定しました。里山林の整備を兼ねて、防護柵用の竹杭や稲刈り時の稲架用として、竹の切り出しを行いました。移植したサクラの苗木も生長しているのが確認できました。



・ダイコンの幼芽の手入れ

平成24年10月の活動

ガマズミの赤い実が映える中で第91回「鹿背山倶楽部活動」が10月13日（土）に25名の参加で行なわれました。楽しみにしていた稲刈りとサツマイモの収穫、秋植え野菜の準備ほかを行いました。雨に降られることもなく、清々しい秋晴れの里山で活動が出来た1日でした。

黒米とヒノヒカリ米の稲刈りを行いました。先日の台風で稲の一部が倒れていましたが、生育は良く、穂が大きく垂れ下がっていました。2日前の降雨で少し、濡れたものもありました。水田内の水抜きは会員が2週間前から、こまめに対処していましたが足を取られる部分もありましたが、楽しく行うことが出来ました。稲刈りも慣れた者が多くなりました。刈り取った稲は径10cmほどにまとめてナイロン紐で結びました。稲架作りは水田横の里山林から竹を切り出し、枝払いをして、支柱用と横竹用に加工しました。支柱は3本の竹を束ねて紐で結び、組み立てて3～5m間隔に配置して横竹を載せて結束固定しました。稲架掛けは黒米束とヒノヒカリ米束が混ざることのないように少し間隔を開けて掛けました。赤米と緑米は成熟が遅れているために次回の活動日（27日）に稲刈りを行う予定です。次回までのイノシシ被害防止対策として、防護柵の見直しを行い、杭の中間の防護網の裾を差し込んだ竹串と紐で結びました。進入されることはないでしょう。



・ 快い秋の陽ざしを受けての稲刈り



・ 刈った稲を束ねる

サツマイモの収穫を行いました。今年は安納品種と紅あずま品種の2種を植え付けました。今回は紅あずま品種の一部の収穫を行いましたが生育が良く、径約10cmで長さ約20cmのものも収穫できました。次回の活動日には残りの収穫を行います。オクラとオオバ、シソ、ゴーヤは撤去して、畝は秋植え野菜の準備の耕耘をしました。タマネギ、ソラ豆、エンドウ豆の植え付けを行います。ナスビは収穫し、昼食の食材として味わいました。シイタケの収穫を行いました。収穫本数は少なかったようですが、径約15cmのものが10本ほどありました。これから、しばらくは収穫を楽しむことが出来るでしょう。



・ 大きいぞ！サツマイモの収穫

平成24年11月の活動

里山に山柿の実が映える中で第92回「鹿背山倶楽部活動」を11月10日（土）に23名の参加で行ないました。脱穀と籾摺り、タマネギ苗の植え付けほかを行ないました。雨に降られることもなく、秋晴れの里山で活動が出来た1日でした。

秋の収穫の楽しみでもある古代米ほかの脱穀と籾摺りを行いました。地元の方の協力で自走式の脱穀機を水田の横に据付けて、稲架から稲束を運び、量の多いヒノヒカリ米、黒米、赤米、緑米の順で地元の方の指導で行いました。脱穀機からは籾が意気よいよく、袋の中に出てきました。籾が取り除かれた稲藁は会員が手渡しで運び、ストックするシートの上に積み重ねました。午後から籾摺りを行いました。休憩所に保管してあった籾摺機を4～5人で担いで、広場まで運びましたが以外と重く、足元に注意しながら、掛け声を掛けて運びました。動力機と籾摺機を平ベルトで連結する調整作業をして、固定しました。籾投入受け皿部に箕で小分けして入れました。始めは調子が悪く、詰まりストップしましたが、調整しながら行いました。収穫の玄米は一部が繰り返し籾摺されて、出来上がるようで、受け皿部に戻って来る構造のようです。台風での倒伏やイノシシの出現で稲刈り時期を決めましたが、少し早かったようで、ヒノヒカリ米は薄緑色したものや黒米は茶色のもの、赤米は薄茶のものが混ざっていました。玄米でヒノヒカリ米は2.5袋、黒米は1.5袋、赤米は0.4袋、緑米は2袋でした。今年は昨年より、多く収穫することが出来ました。後日、会員の皆さんやお世話になっている方に配布します。



・水田の横に自走式脱穀機を据えての脱穀



・会員が見守る中で籾摺機も順調に動く

畑ではタマネギ苗の植え付けを行いました。「OP黄（中晩生）」品種で30cmほどの苗100本を購入し、約20cm間隔で2列植としました。会員が平日にサラダ用の赤紫品種を50本植え付けました。播種したタマネギは約10cmに生長しています。もう少し育てて、間引きを行います。オクラは種子採取のために刈り取り、乾燥させます。ダイコンは順調に生育しています。これから、畝を整備してソラ豆とエンドウ豆の播種を行います。



・タマネギの植え付け

平成24年12月の活動

里山に冬鳥のジョウビタキが訪れた中で第93回「鹿背山倶楽部活動」を12月8日（土）に42名の参加で行ないました。午前は里山で餅つき、午後は都市再生機構の食堂をお借りして忘年会を開催しました。

午前は恒例の餅つき大会を行いました。前日の夕方から会員6名でもち米の洗いをを行い、水に浸して置きました。今年は購入したもち米30kgと精米した黒米（もち米）約10kgを準備しました。道具一式を確認して、蒸籠や杵の補修と不足していた洗ったもち米の入れ物やビニール袋を購入しました。餅つきの準備はかまどで湯を沸かし、蒸籠にもち米を中心部をあけて入れ、3段重ねで蒸しを行いました。保管してあった石臼と台を広場に据えて、石臼と杵を温めました。蒸しあがったもち米を臼に入れて、搗き自慢と手返し自慢が威勢よく、掛け声も里山に響き、餅つきを行ないました。子供達や体験する機会の少ない都会生活の男も女も視線を気にしながらも、楽しくもち搗きを楽しみました。搗きあがった餅はあん餅やきな粉餅、ダイコン下ろし餅、納豆餅で搗きあがり美味しくいただきました。また、会員が事前に里山で摘み、蒸して作ったヨモギを入れたヨモギ餅とサクラエビを入れた紅色した餅を作りました。20臼ほどの餅つきとなりました。昼過ぎに天気が急変し、風も強くなり、降雨が心配されましたが、幸い雨に降られることもなく、今年の餅つきも終わることが出来ました。



・ 快い杵音が里山に響く



・ 子供も大人の指導で楽しく餅つき体験

午後は場所を変えて、忘年会を開催しました。料理は会員が前夜に仕込んだおでんと鍋物でアルコール類を片手に2時間余りを今年の思い出や来年の思いを熱く語り会いました。おでんは我が倶楽部（食育班）の自慢料理です。具の種類も多く、味も最高です。鍋物は寄せ鍋とモツ鍋で収穫したジャガイモを使用したポテトサラダ、会員差し入れの冬瓜の漬物、干し柿とダイコンとニンジンの酢の物ほかでした。話も盛り上がり、尽きる時間でしたが、帰途の安全（飲酒運転の禁止）を確認して解散としました。



・ 鍋料理を囲んで楽しく語り合う

平成25年1月の活動

あけまして、おめでとうございます。今年も緑豊かな鹿背山の里山で楽しく、いい汗を掻き語り会いましょう。

小川の水取り口の周りに氷柱が出来る寒さの中で第94回「鹿背山倶楽部活動」を1月12日（土）に15名の参加で行ないました。農始め恒例の恵比寿神社への初詣と畑の手入れ、竹の切り出しを行い、今年初めて「どんど焼き」を行いました。朝は厳しい寒さでしたが、日中は比較的穏やかな気温に恵まれた活動の1日でした。

恒例の安全と豊作を祈願して恵比寿神社への初詣をしました。今年の最後の活動日に草刈りをして整備した参道を約20分歩き、神社に着きました。全員がお参りした後、社務所前で記念写真を撮り、発掘調査中の鹿背山城址の見学を行いました。戦国時代の山城であったために急勾配のところを登り、城址跡の頂上から市街地を雑木の間から垣間見ることが出来ましたが、今は樹々が生い茂り、全方向を見渡すことが出来ませんでした。見学後に同じ参道を歩き、多くの野鳥と出会い、楽しみながら戻りました。



・恵比寿神社での初詣



・鹿背山城址を見学

畑では順調に生育しているエンドウ豆とソラ豆の防寒作業と播種したタマネギの間引きと除草作業を行いました。ダイコンは昼食の雑煮用に数本を収穫しました。

淡竹が繁殖進入していた里山林の皆伐も進み、休眠していた種子もニッチ条件が整い、植栽した苗木や播種したドングリも発芽、生育して良好な雑木林になってきました。

午後は小正月の火祭り行事「どんど焼き」を行いました。竹を円錐状に枠組みをして、火種の藁の中に積み上げ、その上に持ち寄ったしめ縄や古いお札、正月飾り品、門松材などを置き、火をつけました。白煙が立ちのぼる中、風通しを良くして、燃やしました。

残り火を利用して、竹炭を起し、冷凍保存していた紅白の餅を焼いて、食し、無病息災を祈願しました。

昼食は恒例の雑煮とめん類でした。雑煮は焼き餅に収穫したダイコン、会員差し入れのニンジン、ミズナ、シイタケ、紅白蒲鉾入りのすまし味でした。



・小正月の火祭り行事のどんど焼き

平成25年2月の活動

小さな淡青色のオオイヌノフグリの花が咲き始めた中で第95回「鹿背山倶楽部活動」を2月9日（土）に17名の参加で行ないました。タマネギへの施肥や果樹木の移植、竹の伐採、物置の組み立てほかを行いました。今日も朝は厳しい寒さでしたが、昼中は比較的穏やかな気温に恵まれ、楽しく活動できた1日でした。

畑ではタマネギの施肥ほかを行いました。寒さに負けずにタマネギ苗も育っていて、化成肥料の施肥と除草を行いました。エンドウ豆とソラ豆は誘引のネット張りを行いました。また、会員から提供されたキャベツ苗の植え付けを行いました。播種した大麦と菜種は防寒の藁の隙間から芽を出してきました。シイタケの収穫が出来ました。次回の活動日にはジャガイモ種芋の植え付けを行う予定です。



・キャベツの植え付け



・サクラランボの移植

柑橘とサクラランボの木の移植を行いました。会員が育てていた果樹木の提供を受けて、果樹園地に移植しました。活動地の奥に植えられていたことで、掘り起こしてシートに包み、一輪車で運びました。植え穴を掘り、堆肥を施して、運んできた樹木の根鉢の根の先を切り直し、植え付けを行いました。埋め戻し後に水鉢を作り、灌水して、竹の3本支柱組みを行いました。サクラランボの枝の切り口は防腐処理剤のトップジンを塗布しました。

里山林の整備を行いました。主に生育している淡竹の伐採をしています。良好な落葉雑木林になってきました。最近、皆伐したエリアの後には休眠していた雑木の種子が芽生えて、幼木が多く生育してきています。また、昨年グリーンウェイブ2012で植栽したエドヒガンサクラなどは順調に生育していることが確認できました。切り出した竹は休憩所の屋根部に架けている竹の取替え用として利用します。物置の組み立てを行いました。土台の水平を水平器で確認して、下枠を置き、枠組みの立て込みを行いました。屋根材を置き、壁部を取り付け、床部材敷いて、入り口扉を取り付けました。機器類の収納が出来て、盗難や雨水の湿気の心配も無くなります。これから、棚を作り食器類や道具類を収納します。



・里山林の整備（淡竹の伐採）

平成25年3月の活動

ウグイスの初鳴きを耳にして第96回「鹿背山倶楽部活動」を3月9日（土）に17名の参加で行ないました。午前は現地でシイタケ原木の運搬、休耕した水田の草刈り、畑の草取り、排水溝掘り、里山林の整備、竹の焼却処分ほかを行いました。午後は2012年度の総会と懇親会を行いました。

シイタケやヒラタケ栽培の原木を山の上から下ろす作業を行いました。過日にクヌギを切り倒し、玉切りした原木を急斜面地のため、足元に注意して、運搬する作業を行いました。これから、菌打ちを行います。

午後は2012年度の総会と懇親会を開催しました。総会は出席者23名（新規加入者3名）、委任状7名で会則第11条の総会成立条件を満たしており、成立しました。提出議案は4件で第1号議案「2012年度活動報告と収支決算」、第2号議案「2012年度監査報告」、第3号議案「2013年度活動予定と予算計画」は提案どおり承認されました。第4号議案「2013年度役員を選出」は立候補者及び他薦者が無く、議長一任となり、推薦者が承認されました。総会終了後、NPO法人「京都発・竹・流域環境ネット」の吉田博次理事長に東日本震災復興のボランティア活動の講演をお願いしました。東松島市の地場産業である海苔養殖の筏に用いる竹を提供するために、鹿背山の竹の切り出し、薫加工、運搬と現地での打ち合わせと組み立てのボランティア活動等の報告でした。



・山の上からシイタケ栽培の原木の運搬



・吉田博次氏の震災復興支援の報告講演

懇親会は会員の前田良作氏が4月から震災復興支援で大槌町に派遣されることから、壮行会も兼ねました。決意表明の挨拶をしていただき、黒板1枚ほどの寄せ書きに全員が激励文や思い出を書き込みました。体調に気をつけて、ご活躍されることを一同が祈念します。また、講演していただいた吉田さんとメンバー3人も参加され、これからの活動や共同作業について、何が出来るかを熱心に意見交換しました。約2時間、今年の思い出やこれからの抱負を熱く語り会いました。



・熱心にこれからの活動の抱負を語り合う

鹿背山の動植物（動物）



シオカラトンボ



タマムシ



アカガエル



ノコギリカミキリ



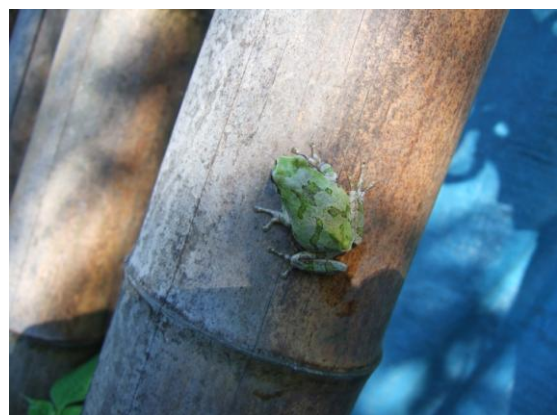
シュレーゲルアオガエル



キアゲハ



コオイムシ



ニホンアオガエル

鹿背山の動植物（植物）



オドリコソウ



ヘビイチゴ



ノダケ



ショウジョバカマ



ツリガネニンジン



ガマズミ



タツナミソウ



マンジュシャゲ